

5月20日中間考査が終わると生徒の活動が再開されました。生活科学科地方創生班は、今年度も卒業生の研究を進めるため、



もち麦の収穫から始めました。5月21日神戸新聞北播版にも掲載されました(写真左)が、高校生の活動が地域を支える原動力になっており、加東市との連携事業も増えてきています。しかしながら、課題も多く、高校生のできることに限りがあり、地方創生を進めていくにはやはり行政の力が必要です。もち麦の生産農家を増やしていかなければ大量生産にはつながらず本当の意味での地方創生にはなりません。人手不足が叫ばれ、農業の担い手も高齢化が進む中、商品開発だけでは限界があります。今その取組を各部署でスタートさせているようです。先日福崎にある、もち麦の里を訪ねる機会があり、マスコットキャラクターや歴史施設、そして飲食店がうまくかみ合っている様子を見て、参考になることが多々ありました。本校生の頑張りが実を結び、加東市の発展につながるよう他地域の取組も参考にしながら発展していくことを期待しています。面談で生徒が語ってくれた「今年の地方創生政

策アイデアコンテスト最優秀賞を目指す」という言葉がとても頼もしく、実現に向けて応援していきたいと思いました。頑張ってください。

県総体は5月22日バスケット女子が2回戦を戦い、神戸高塚高校にじわじわ離され敗戦。ウインターカップに雪辱を期することになりました。今週末には陸上、バドミントン、ソフトボールが始まります。総体も佳境を迎えてきます。どの試合も無観客となります。保護者の皆様の気持ちを考えるともう少し何とかならないかとも思いますが、今年は昨年と違い試合ができるだけでも生徒たちにとっては自分の成果を試せる場所があるということでありがたいことだと思います。幸い兵庫県も新規感染者は減少傾向になってきました。今までの取組を無駄にしないためにも気を緩めることなく感染防止対策をしっかりと取り、自分たちの目標に向かって頑張っていきたいと思います。保護者の皆様の日ごろのご協力に感謝しながら、改めてのご協力をお願いいたします。



5月25日は、好天に恵まれ新体力テストを実施しました。学年ごとに行い、それぞれ体育科の生徒が要領の説明や計測を行いました。陸上

競技場では50mと立幅跳、サッカー場でハンドボール投、体育館では長座体前屈と、握力、反復横跳び、腹筋がおこなわれ、一生懸命に取り組んでいました。持久走については体育の授業で実施する予定です。生徒たちは体育科の生徒の話をよく聞き真剣に取り組んでいました。お疲れ様でした。

26日は、生徒総会と生徒会選挙が行われました。私からも最初は「思いを持つ、思いを伝える、相手の思いを聞く」とことと「新型コロナウイルス感染防止の継続のお願い」について話をしました。先が見通せない中、理不尽に感じることも多いかもしれないが、今までの努力を無駄にしないためにも気を緩めず継続しようということです。思いを持つことでモチベーションを上げる、伝えることで実現に近づける、そのために相手の思いを聞いて支えあう気持ちを持つという話をしました。

生徒総会では昨年度の行事報告、決算報告と予算案が提示され承認されました。その後生徒会役員選挙に伴う立候補者の公約を聞き、実際の選挙に近い形で行うため投票箱等を借りてきて、選挙を実施しました。新体制は文化発表会以後に引き継がれます。思いのこもった生徒会活動を期待しています。選ばれた生徒だけでなく全員で社高校を盛り上げてください。

